



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 下地材の強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ 枠を固定する下地材はまぐさ、柱などの硬木としてください。
 - ・ 躯体が軽量鉄骨(ランナー・スタッド)の場合は躯体固定ねじが効かないため、開口補強材もしくは木枠(厚み45mm以上)をまわしてください。
 - ・ 下地材が開口補強材の場合、ドリルねじ(NC140以下は枠同梱)を使用して枠を固定してください。


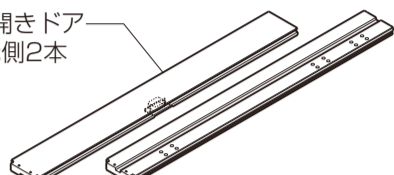

■施工上のお願い

- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換は出来ません)
- 運搬・加工の際は傷つかないように取り扱いってください。また、水・直射日光のあたる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 建具枠をコンクリートやモルタルに直付けする場合は建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 本製品の組立・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり、ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際に表面シートを痛めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 丁番を調整したい場合は市販の丁番起こしを使用して調整をしてください。


■本体保管上のお願い



- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・ 湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

本体	上枠セット			
	上枠	上枠用戸当り	部品セット	取付け説明書
 召合せ定規セット(親子ドア・両開きドアのみ) ※召合せ定規の取付け方法は、親子ドア本体用部品セットのチラシを参照してください。 部品セット	縦枠(2本)		縦枠用戸当り(2本)	
	 親子ドア・両開きドアの場合は吊元側2本			

■部品セット(上枠セット同梱)標準ドア



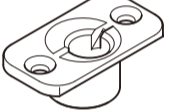
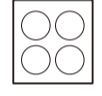
組立ねじ	躯体取付けねじ	穴隠しシールシート
 M4×50 皿小ねじ 4本	 φ3.8×50 DNビス 11本	 6個

軽鉄用ドリルねじ (NC140以下のみ)	
 φ4×40 なべドリルねじ 15本	 φ4×35 トラスドリルねじ 10本

■丁番セット(別売り)

丁番	枠取付けねじ	本体取付けねじ
 3個入り	 M4×25 皿小ねじ 12本	 φ4×25 皿タッピンねじ 12本

■部品セット(上枠セット同梱)親子ドア・両開きドア

組立ねじ	躯体取付けねじ	フランス落とし受け	穴隠しシールシート
 M4×50 皿小ねじ 4本	 φ3.8×50 DNビス 12本	 1個	 3枚

■召合せ定規用部品セット

端部ピース	取付けねじ	取付け説明書
 LR各1個	 トランスタッピン ねじφ4×10 19本	 1部

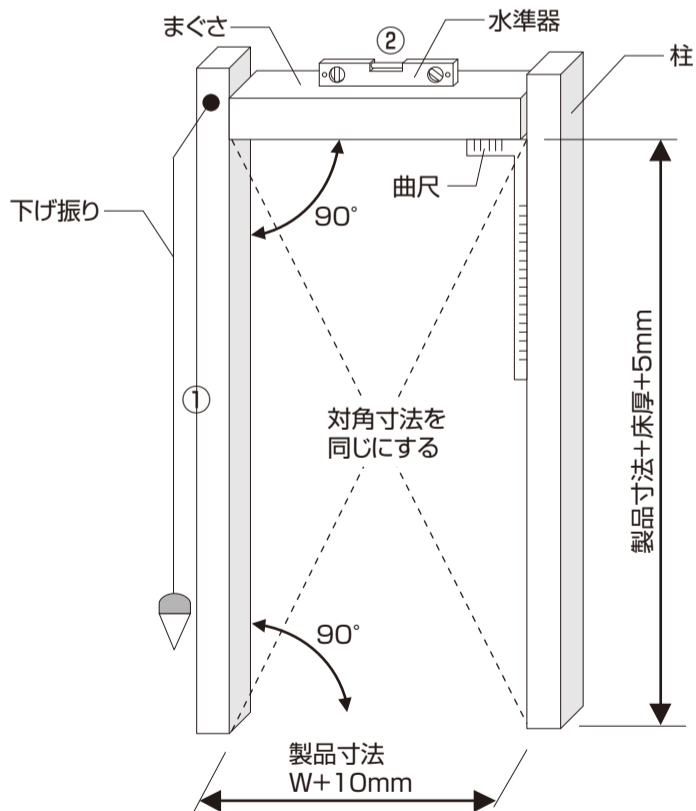
■ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

■錠セット明細

錠セット	1組
------	----

■開口部の作り方



- ①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

■取付け範囲

(単位:mm)

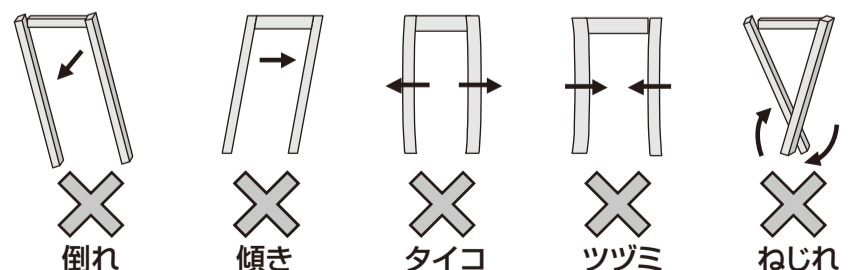
ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC95	64~75
	NC115	76~100
	NC140	101~115
	NC156	116~130
	NC171	131~145
	NC180	146~160

▲注意

- 躯体が軽量鉄骨(ランナー・スタッド)の場合は躯体固定ねじが効かないため、開口補強材もしくは木枠(厚み45mm以上)をまわしてください。本体脱落のおそれがあります。

■施工上のお願い

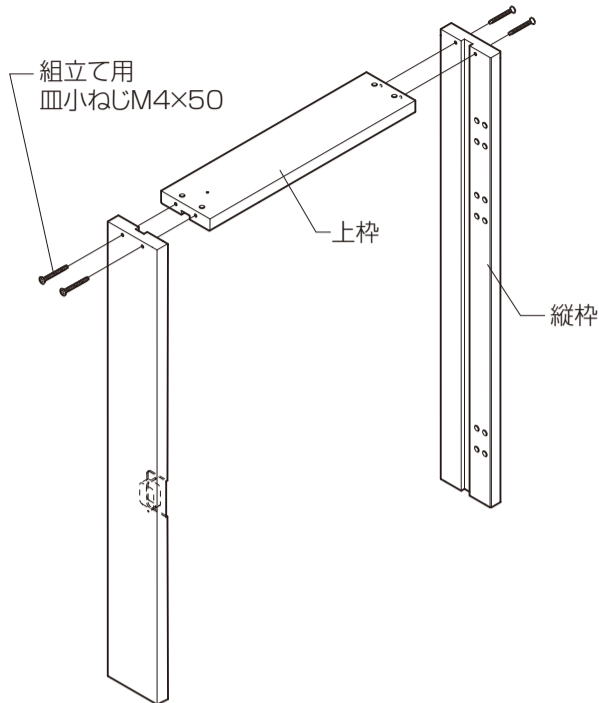
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間をつくるかい木を入れてください。
- 建具枠の下地材、及びかい木には乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 建具枠を取り付ける時は必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合はかい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 壁内の通気が悪く内部結露が発生するおそれがある場合は防水処理してから取付けしてください。
- 柱、床、まぐさの水平、垂直を出してください。水平垂直が出ていない場合、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



■取付け順序

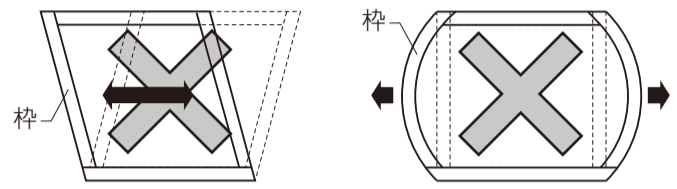
1 枠の組立て

枠を下図のように組立てます。



お願い

- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- ※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

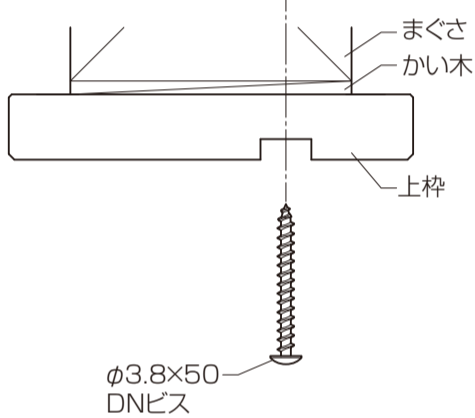


2 枠の取付け

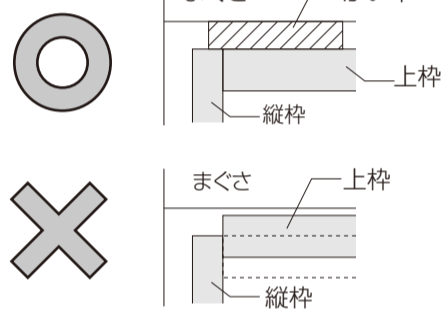
枠を躯体に取付けます。

かい木を使用し、水平垂直に取付けてください。

■上枠の固定

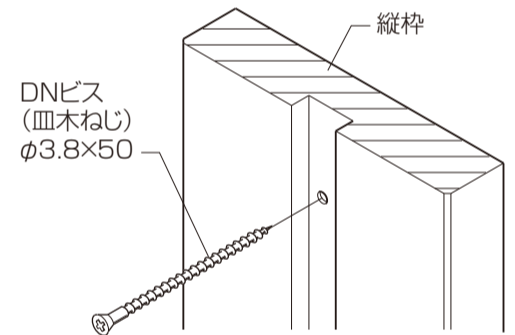


φ3.8×50
DNビス

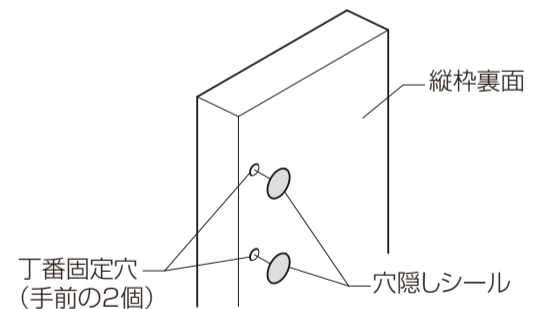


上枠が持ち上がらないように枠接合部に
かい木を入れます。

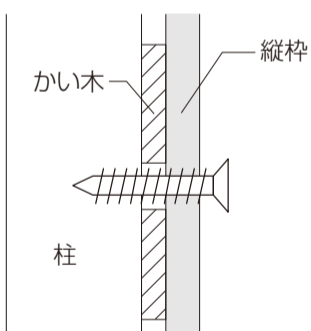
■縦枠の固定



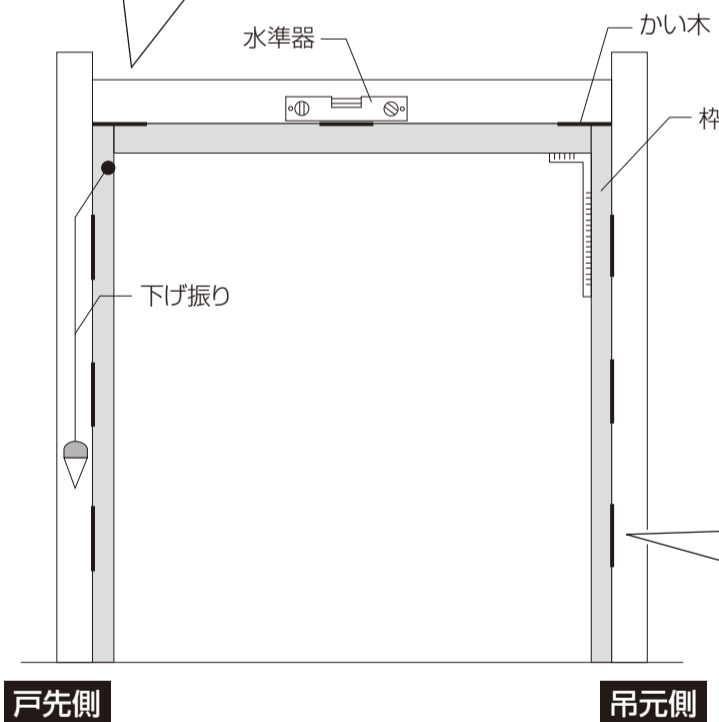
※枠の裏面の丁番固定穴が露出してしまう
場合、部品セット同梱の穴隠しシールにて
穴をふさいでください。



■かい木の固定



かい木は100mm以上を使用して接着
剤で接着してください。



▲注意

- 下地材の強度が十分でない場合、本体脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・枠を固定する下地材はまぐさ、柱などの硬木としてください。
- ・躯体が軽量鉄骨(ランナー・スタッド)の場合は躯体固定ねじが効かないため、開口補強材もしくは木枠(厚み45mm以上)をまわしてください。
- ・下地材が開口補強材の場合、ドリルねじ(NC140以下は枠同梱)を使用して枠を固定してください。

お願い

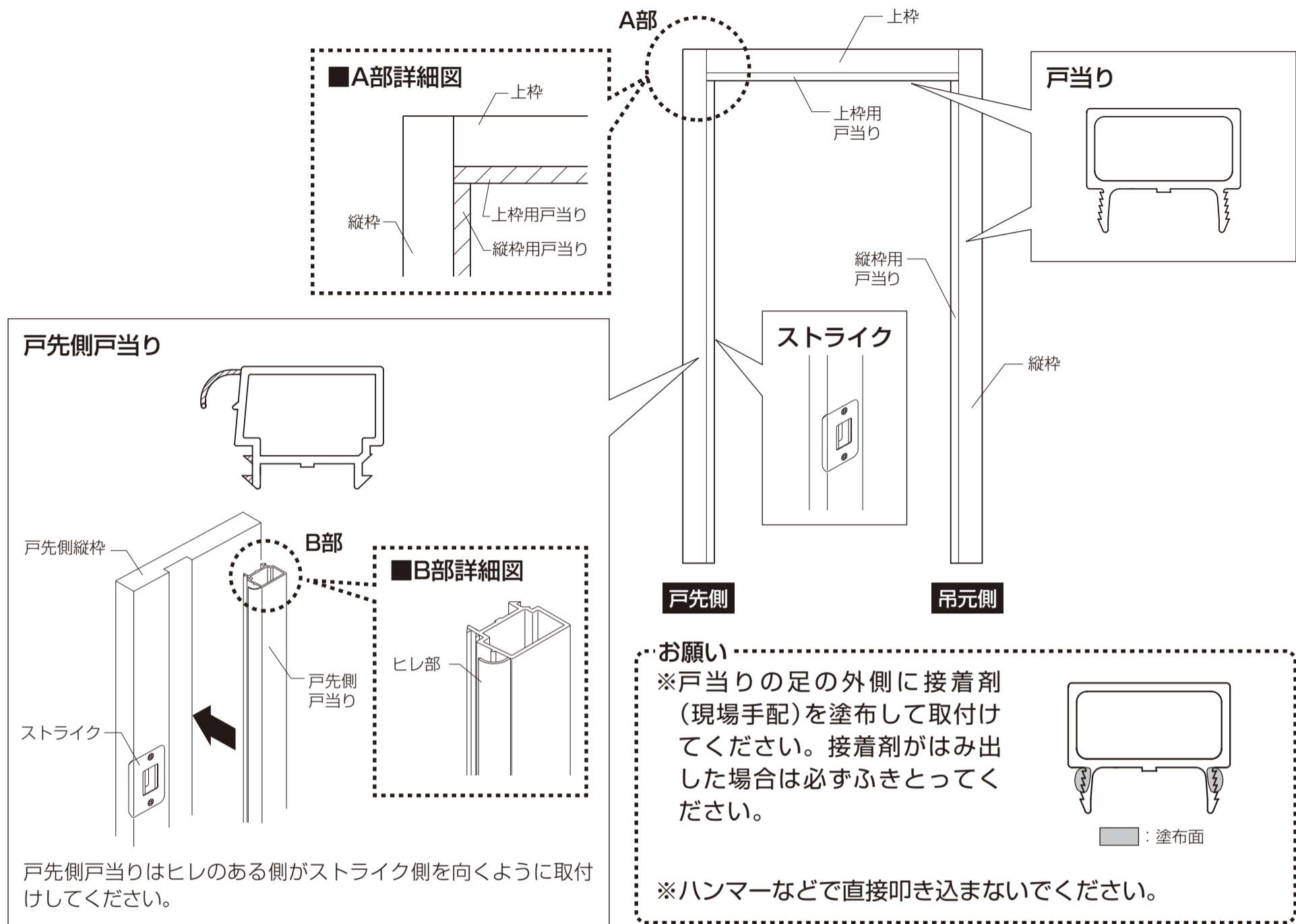
- ※取付けの際は吊元の位置を確認してください。
- ※建具枠を取付ける時は必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合はかい木の両面に接着剤を塗布してください。
- ※現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- ※壁内の通気が悪く内部結露が発生するおそれがある場合は防水処理をしてから取付けしてください。

3 枠への部品取付け

①戸当りを枠に合わせて切断し、取付けます。

※標準ドアの戸先側は戸当り形状が異なります。事前に確認してから取付けてください。

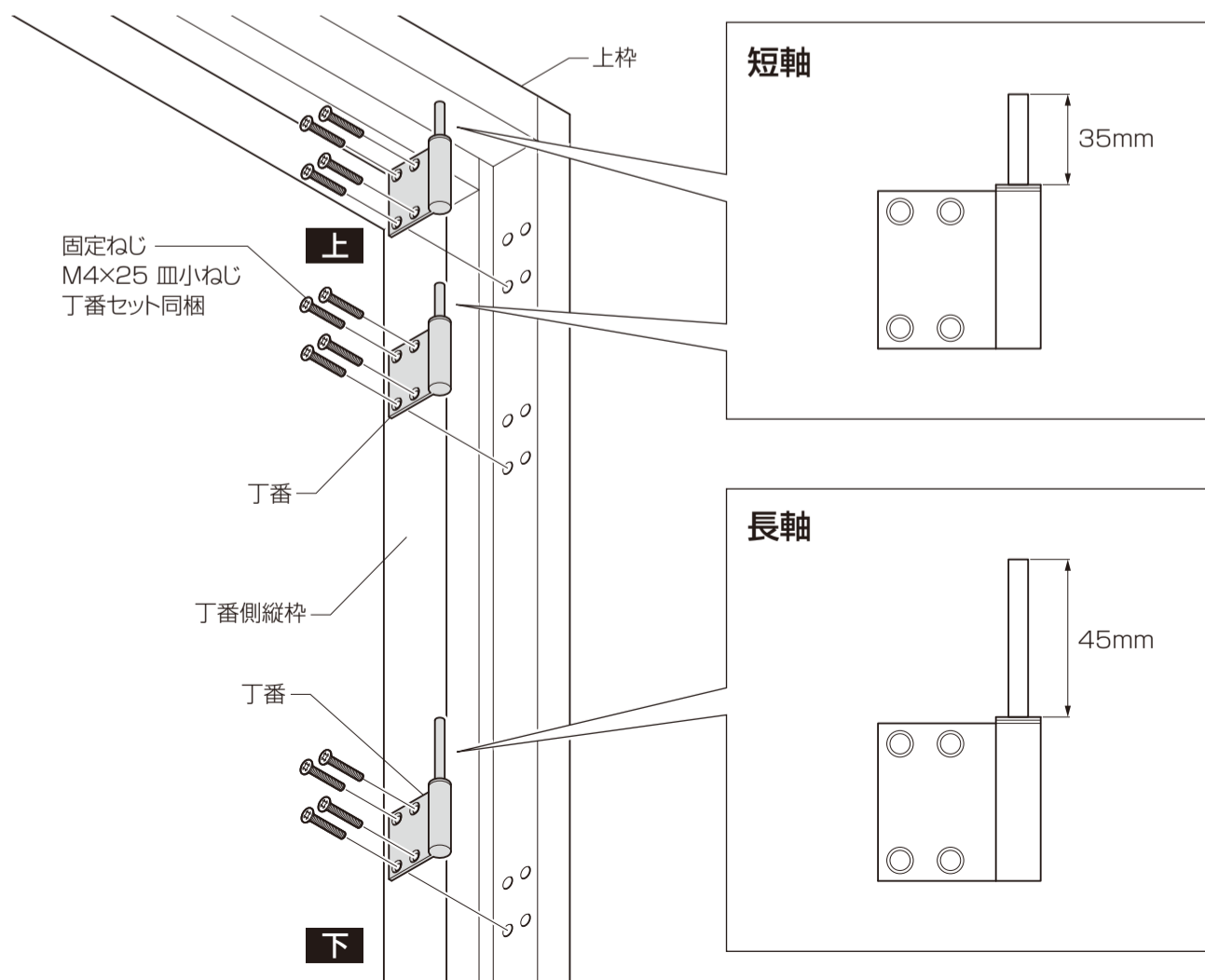
※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。



②丁番を取付けます。

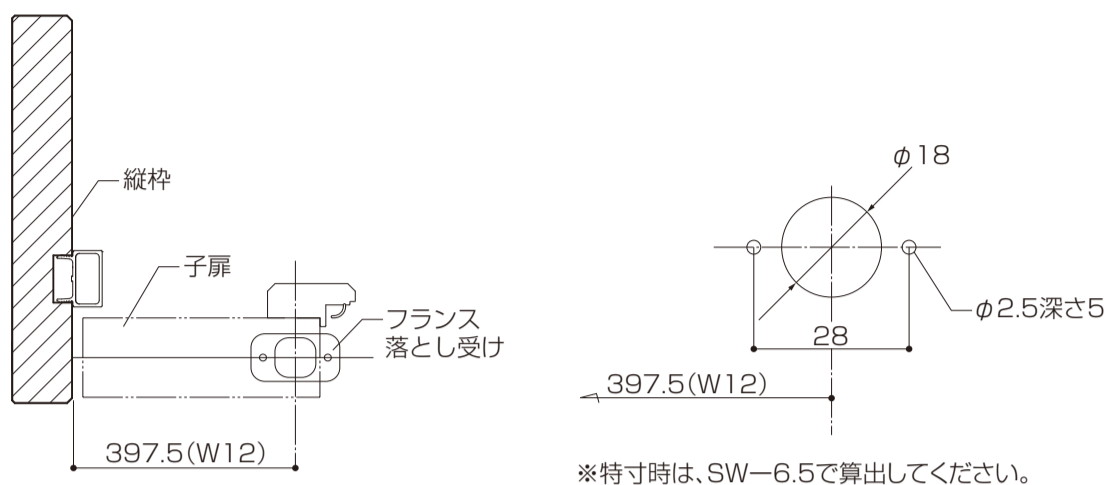
丁番は軸長さが2種類あります。

短い軸を上2つ、長い軸のものを下の丁番としてください。



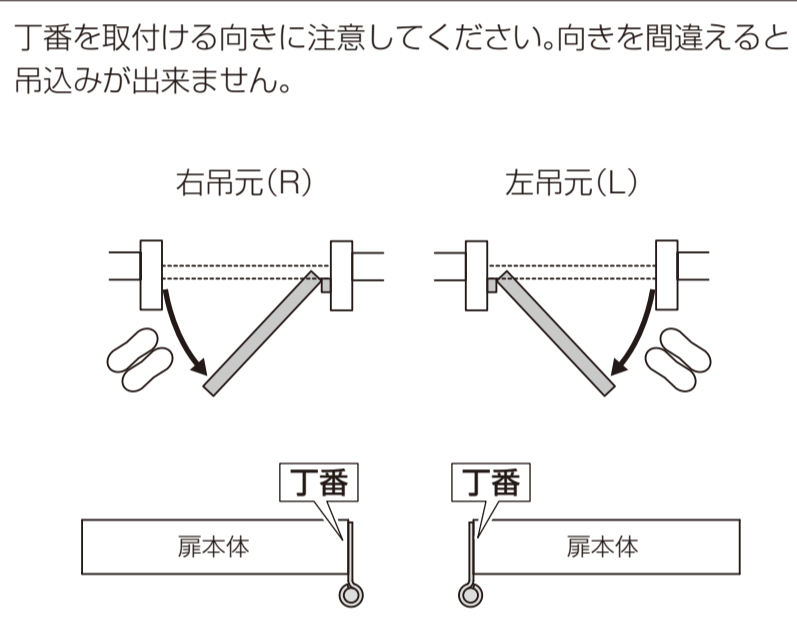
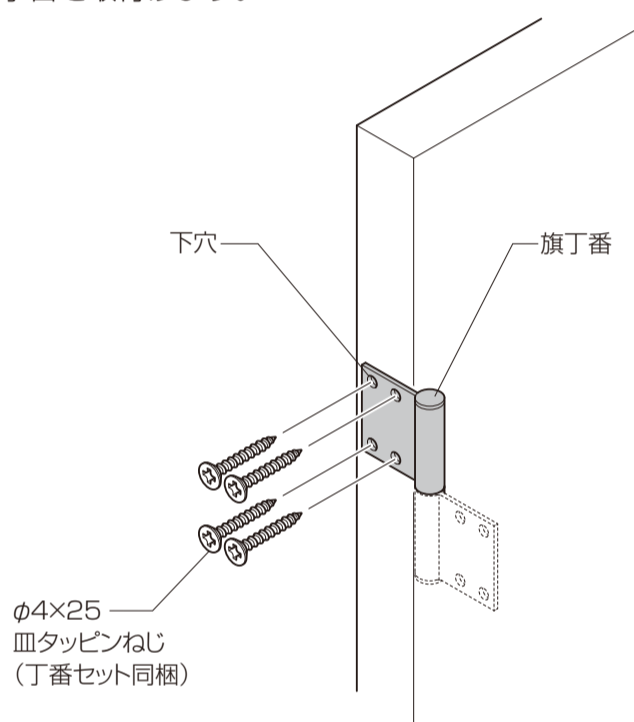
4 フランス落とし受けの取付け（親子ドア・両開きドアのみ）

- ①下図に従い床面を加工します。
- ②フランス落とし受けを床面にはめ込み、同梱のねじ（皿木ねじφ 3.5 × 13）で取付けます。

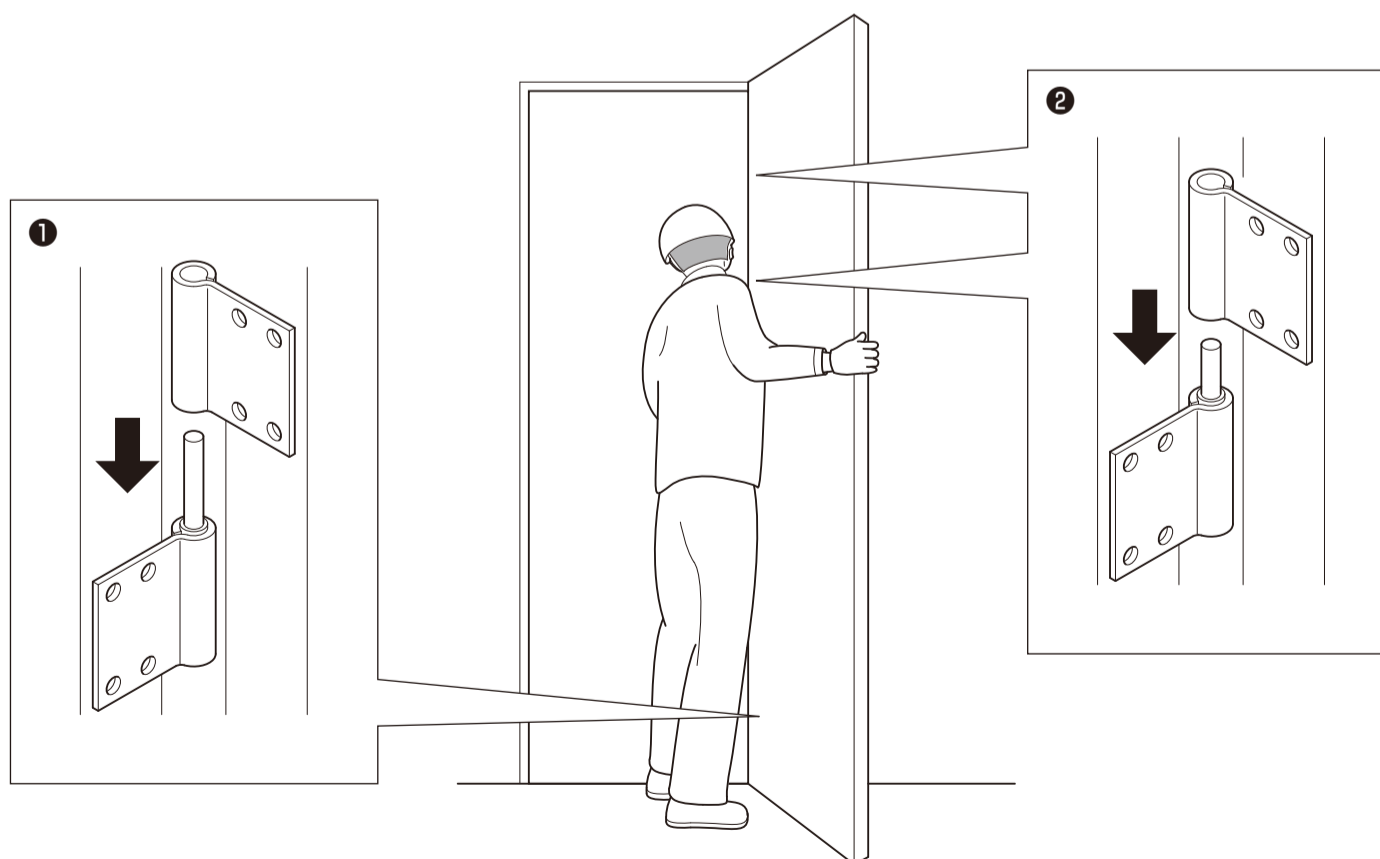


5 本体の吊込み

- ①本体に丁番を取付けます。

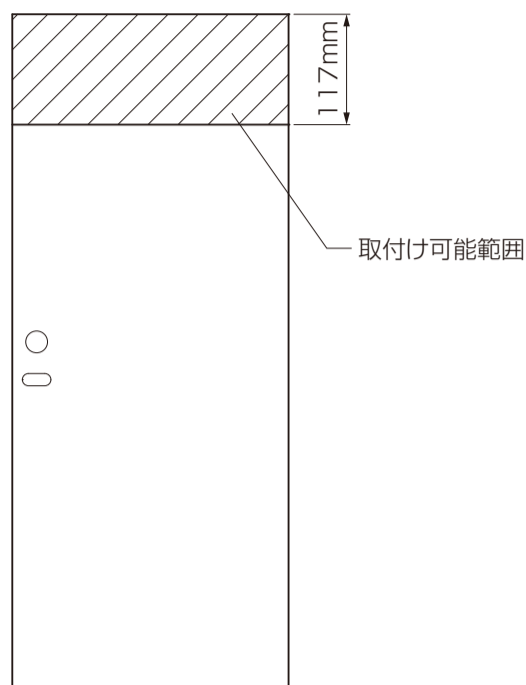


- ②本体を吊込みます。
一旦、下丁番を差し込み、少し上げて上丁番を入れます。
※下丁番の方が軸が長くなっています。



6 ドアクローザの取付け

扉本体のドアクローザ取付け可能範囲は以下のようになります。
市販のドアクローザ同梱の説明書にしたがって取付けてください。
※親子ドアの子扉は対応できません。

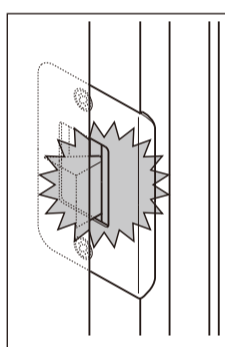
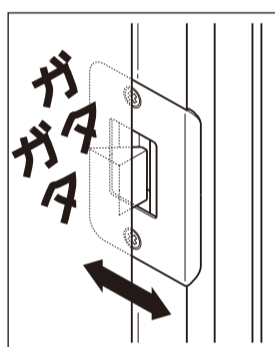


■調整方法

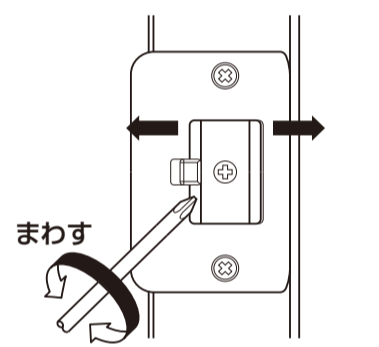
1 建付け調整 (ストライクによる調整)

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライクの中でガタつく ■ラッチがかからない

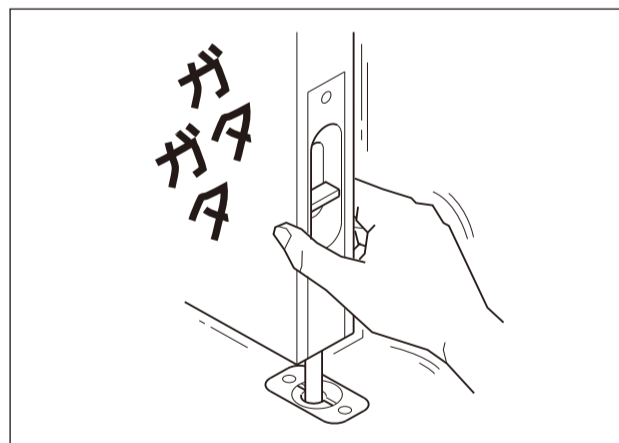


ストライク調整ねじ
可能調整範囲±2.5mm



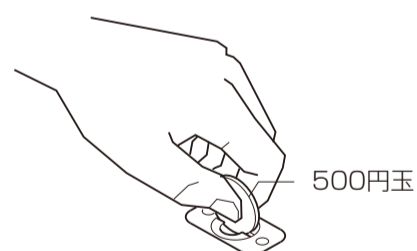
丁番を調整したい場合は市販の丁番起こしを使用して調整をしてください。

2 子扉のガタツキ調整 (フランス落とし受けによる調整)

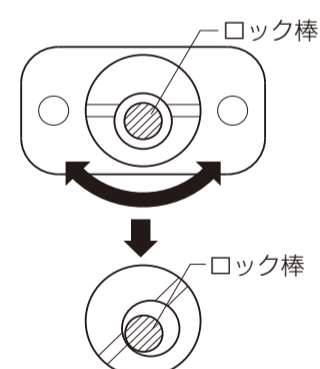


●子扉がガタつく。

①コイン等で穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



【フランス落とし受け】



■納まり図

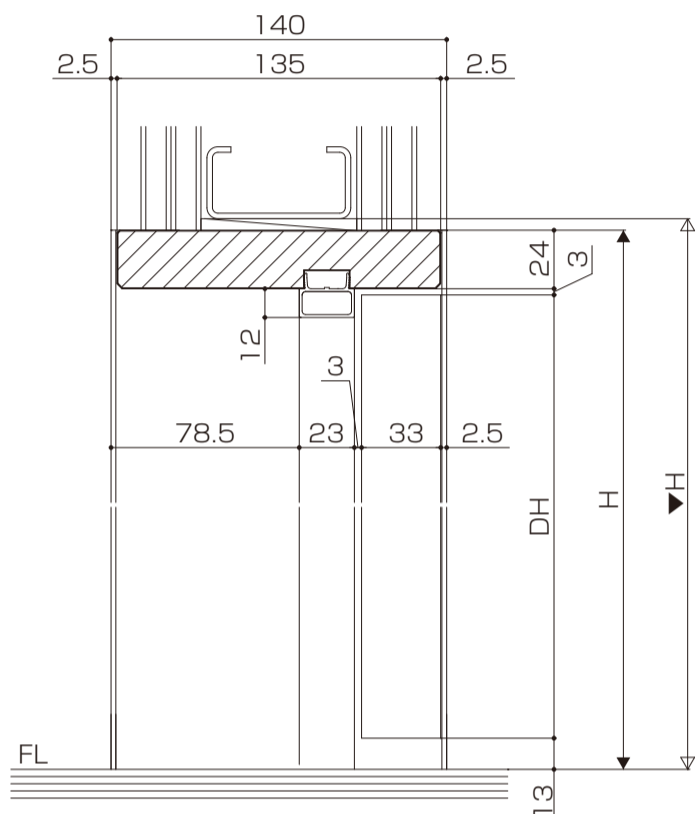
■標準ドア (NC140)

有効開口寸法

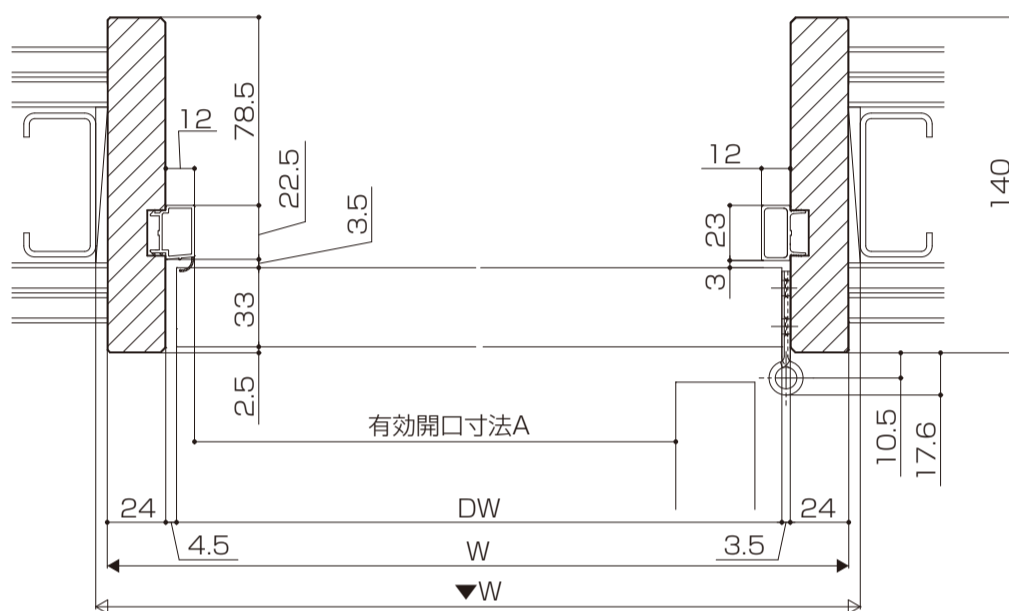
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W055(648)	551
W06(734)	637
W065(754)	657
W07(780)	683
W08(824)	727
W09(868)	771

算出式：A寸法=W-108
DW寸法=W-56

●縦断面図



●横断面図



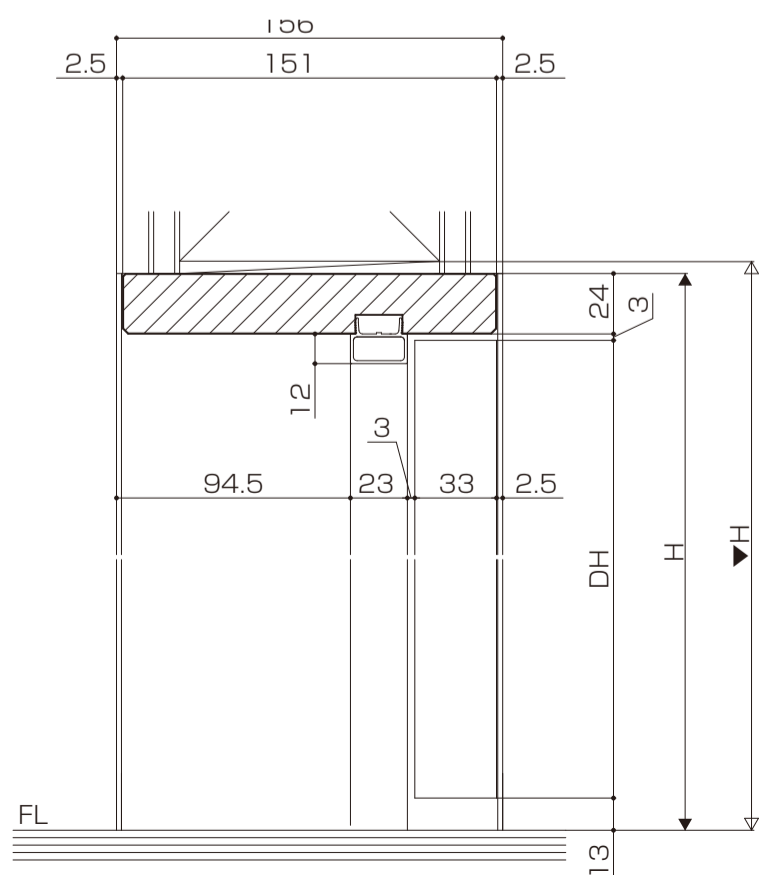
■標準ドア (NC156)

有効開口寸法

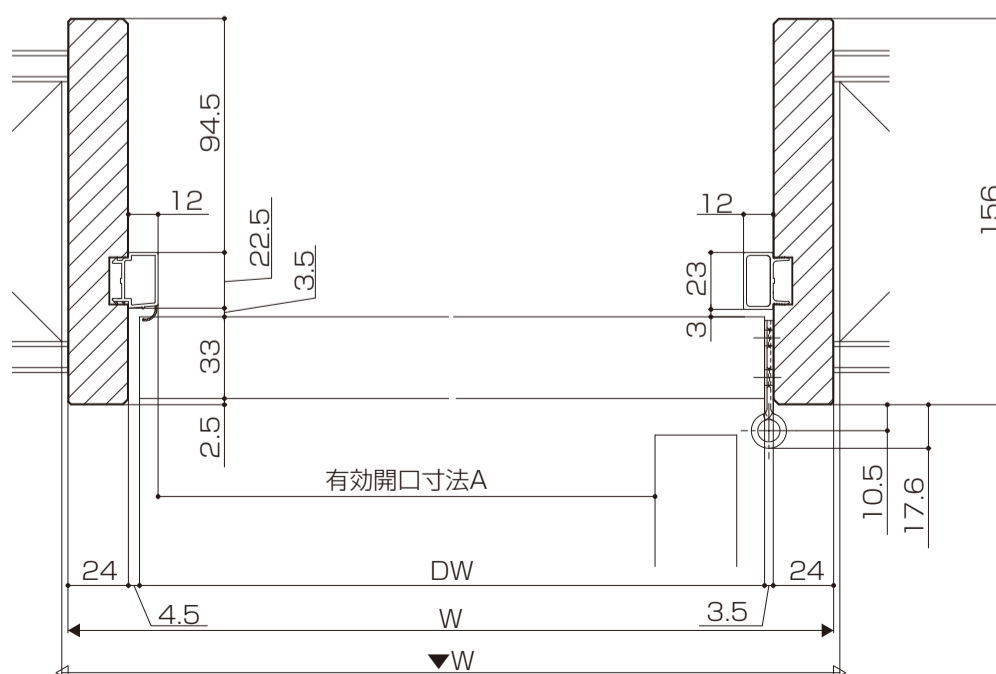
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W055(648)	551
W06(734)	637
W065(754)	657
W07(780)	683
W08(824)	727
W09(868)	771

算出式：A寸法=W-108
DW寸法=W-56

●縦断面図



●横断面図



■親子ドア (NC140)

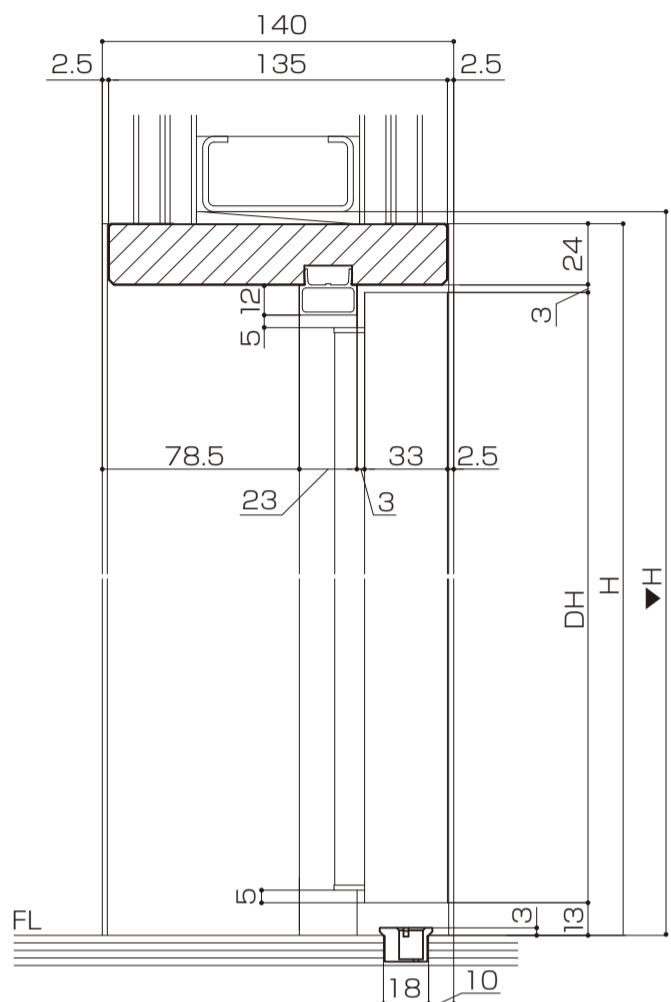
有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W12(1188)	671.5	1032	1116

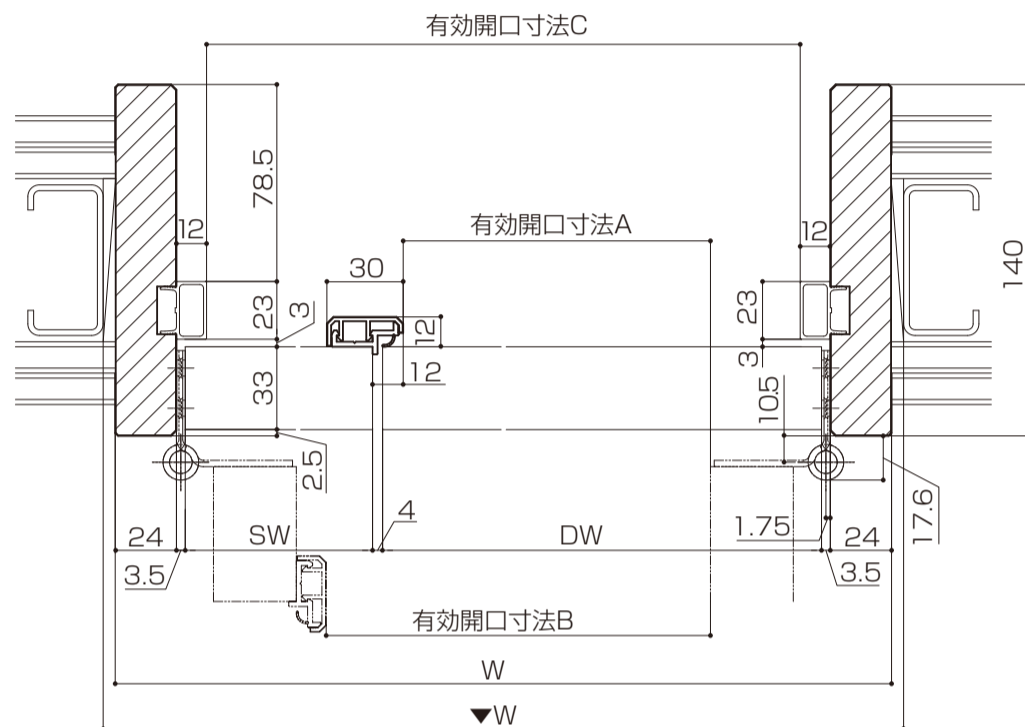
算出式：DW寸法=W-SW-59

SW寸法=W-DW-59

●縦断面図



●横断面図



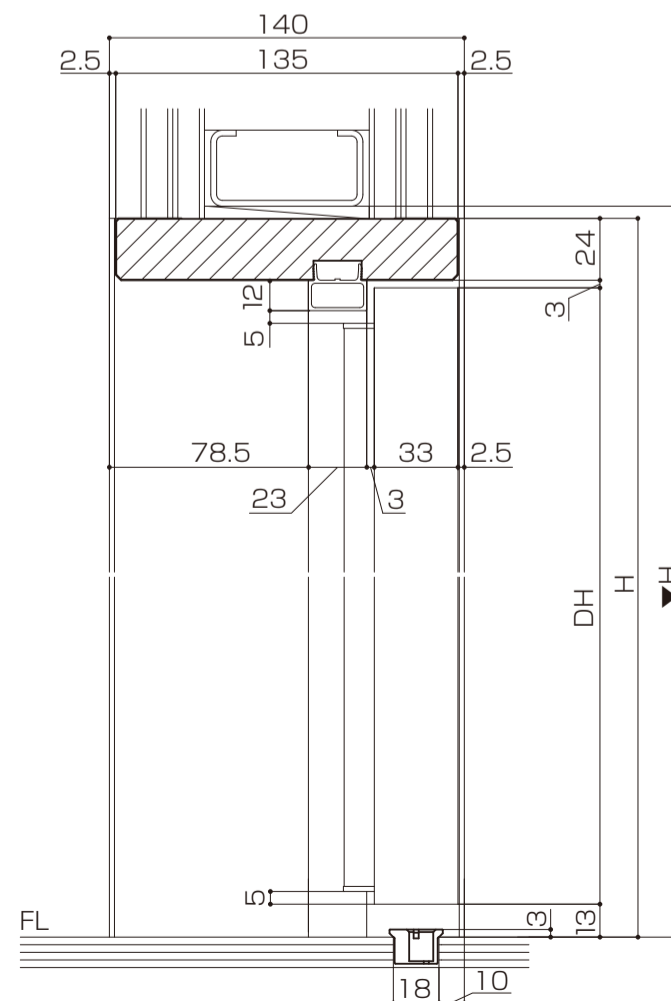
■両開きドア (NC140)

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W16(1683)	759.5	1527	1611

算出式：DW寸法=(W-59)/2

●縦断面図



●横断面図

